

東京都立産業技術高等専門学校

第5期 第1回 運営協力者会議

日時：平成31年1月18日（金）15:00~17:00

場所：東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス

出席委員：

株式会社東新製作所 代表取締役 石原 幸一、大東工業株式会社 代表取締役 井上 浩、株式会社
リクルートキャリア リクナビ副編集長 メディアサービス事業本部 メディアプロデュース統括部 大
学支援推進部 東海グループ 江崎 将人、公益社団法人日本航空技術協会 常務理事 海老名 巖、大
石電機工業株式会社 代表取締役社長 大石 哲也、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
理事 近藤 幹也、東京工業大学 教授 理学博士 高田 十志和、日本マイクロソフト株式会社 業務
執行役員 ナショナルテクノロジーオフィサー 技術統括室 田丸 健三郎、富士通株式会社 ネットワ
ークビジネス戦略室 ネットワークイノベーション部 部長 兵頭 理恵（敬称略・氏名五十音順）

議題1 平成29年度業務実績報告に関する意見について

渡辺副校長より、産技高専の紹介と業務実績報告について各委員から事前に提出があった意見を紹介しつつ説明した。引き続き各委員から次の意見等があった。

<意見等>

○高等教育機関でダイバーシティやユニバーサル対応ということが、教育カリキュラムの中でも言われていると思う。対応チームをつくって非常に懇切な取り組みをされているというのがよく分かった。個々の様々なケースによって対応が変わってくると思うが、丁寧な取り組みが世の中に広く周知できることによって、今後学生を送り出す保護者の方にとっても、安心につながると思うので、引き続き取り組んでいただきたい。

○採用で送り出した企業側の満足度が高いということだったが、企業としては若手の離職が問題になっている。産技高専の卒業生はどうか。

○英語教育に関してはとても良いと思うが、授業が全体として多すぎるのではないかとも思う。

○昔と比べて学生のタイプがだいぶ変わってきたと感じている。国内のトップ大学のマスター、ドクターの学生でも海外には興味がない。一度は海外の研究機関なり、いろいろな研究者と交流して経験を積むことが非常に重要だということを学生に対して話をすることもあるが、近年急速に海外に目を向ける学生が減ってきていると感じている。これは高校生にも言える。

議題2 高専改革について

渡辺副校長より、高専改革の必要性や今後の展望について説明した。引き続き各委員から次の意見等があった。

<意見等>

○東京都が医工連携に力を入れている中で、エンジニアが技術的な材料やメカニズムという以前のところで、薬事法など、薬事に対する理解が必要である。他にも厚労省の管轄のものや、医師の業界は独特なものがあると思う。そういった知見を入門レベルでも、高専で広く中小企業、あるいは関連する業界関係者に教育プログラムとして提供できたら素晴らしいと思う。

○外的環境が激しく変わってきている。特に製造業を中心に変わってきている中で、やはり大学も産業界に受け入れられるような人材をどう育成していくかを試行錯誤している。経団連からは研究としての大学を目指すことは重要だが、同時に教育機関としての大学を目指してほしいという話もあり、そういう意味では、大学が目指している改革の方向性と、高専の位置づけが、近づいてきていると感じる。大学との差異を言えるのはどういうところか。

○やはり基礎的な機械工学と電気工学の重要性と、あとコミュニケーション能力を教育してほしい。また、技術革新の激しい時代なので会社に入ってからでも勉強し続けなければいけない。そのためには基礎がしっかりしておかないといけない。

○昔、AI やアルゴリズムをリサーチャーが一所懸命携わっていたが、そのような先進的な分野は急速に汎用化されつつある。教育の場では、学生は世の中でもはやされているところに飛びつく傾向があると思うが、技術はその時代で関心が変わる。基礎は何歳になっても求められる。その時代で企業が変わっても、求められるものは常に変わらないということを、教育を通して本当に理解してもらうことに積極的に取り組んでいただきたい。

○JABEE のような技術者としてのレベルを保証する資格の取得は今後必要だと考える。

○受検者の志望動向として情報系が多いということだが、これは学校として良いことなのか、悪いことなのか。また、企業のニーズと合っているのか。どういった分野でも今後情報系の技術者は求められると思うが、そういった状況への対応をしていかざるを得ないと思う。

○企業は、大学生を採用する。コストのことを考えると専門学校生を採用するのが良いが、それでも企業は大卒を採って基幹要員としていく。一方で、実際の現業の区分などでは、専門学校や即戦力を採用している現状において、高等専門学校は中間にあると思う。技術だけであれば専門学校でもいい中で、ぜひ高専にはプラスアルファの部分、例えば情報セキュリティ教育で取り組まれているような、技術を教える前に心の教育をしていくといった人間教育は企業に評価されていると思うので、継続していただきたい。

○IoT の時代には、ハードウェアの世界が豊かになると考える。高専には、医療工学や情報工学という分野があると思うが、3D プリンターでプロトタイピングをして、それでどういう商売にしていくのかといった、ハードウェアスタートアップの授業があってもいいと思う。

以上